

☆ 世 界

綿 花 世界の綿花価格が上昇

国際綿花諮問委員会 (ICAC) によると、2016 年 7 月後半の世界の綿花価格は、上半期平均の 70 ㇀/㇀を大きく上回り、80 ㇀/㇀超まで跳ね上がった。世界五大生産国における収穫が著しく少ないうえ、需要が予想以上に拡大しているため、在庫が減少しており、2015/16 年の期末在庫は 12%減の 1,970 万㇀と推定されている。中国以外の在庫は 9%減の 840 万㇀で、2010/11 年の 830 万㇀以来最も少ない水準となった。また、国内需要の増加で、中国の在庫は 12%減の 1,130 万㇀となった。

中国政府が備蓄放出した綿花の需要は依然として高く、一日当たり平均 2 万 6,000 ㇀の綿花が市場に投入されている。7 月の総売上げは約 160 万㇀で、中国の国家備蓄は 940 万㇀に減少した。2015/16 年は、中国の綿花生産は 26%減の 480 万㇀であったが、消費は 2%減の 730 万㇀で、生産を 250 万㇀上回る事となった。輸入制限により、2015/16 年の総輸入量は 94 万㇀に抑えられ、備蓄放出によって高い国内需要を満たした。

2015/16 年の世界の綿花需要は 1%減の 2,390 万㇀であったが、世界の生産は 18%減の 2,130 万㇀となった。同期間末の供給状況が厳しかったことが影響した。輸出の 76%を占める五大生産国で生産の低下が見られた。世界最大の綿花生産国であるインドは 11%減の 570 万㇀、中国は前述の通り 26%減の 480 万㇀、米国は 21%減の 280 万㇀。パキスタンのイールドは 1998/99 年以來最低となり、生産は 34%減の 150 万㇀。ブラジルは 11%減の 140 万㇀。2016/17 年の世界の綿花生産は前年比 8%増の 2,290 万㇀となる見通し。インド、米国、パキスタン及びブラジルの増産が、中国の生産削減を補うかたちとなる。綿花価格の上昇により、農家は肥料投入などイールドの改善に取り組むと見られる。また、2015 年に比べ、2016 年の夏は良い天候が続いている。

2016/17 年の世界の生産は増加すると見込まれているものの、消費は 2,390 万㇀と横ばいが予想される。世界最大の消費国である中国は、綿花価格の上昇とポリエステル価格の低下、そして限定的な輸入の影響により、3%減の 710 万㇀となる見通し。一方で、インドとパキスタンでは、回復の段階にあると見られ、それぞれの消費は 2%増の 530 万㇀と 1%増の 220 万㇀。

世界の輸入は、輸入に頼っている国で消費が伸び続けているため、4%増の750万トとなる見通し。ベトナムは19%増の126万ト、バングラデシュは18%増の121万トと見込まれる。

世界の綿花需給見通し

(100万ト)

	2014/15	2015/16	2016/17
生産	26.12	21.27	22.89
消費	24.18	23.85	23.93
輸入	7.58	7.25	7.44
輸出	7.72	7.31	7.54
期末在庫	22.32	19.67	18.63
価格*	71	70*	72*

*Cotlook A インデックス(セント/ポンド) 価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。